

第 90 回 フォーラム 21 例会 報告

- 日時：2023 年 2 月 16 日（木）18:00~19:00
- 会場：鹿島建設中部支店とオンラインのハイブリット開催
- 講演：「建設業における DX の取り組み」
- 講師：鹿島建設株式会社 デジタル推進室 真下 英邦 様

■ 内 容

建設業において労働力不足や高齢化が深刻さを増すなかで、人手不足の向上や安全性の向上、熟練技術の継承など、建設業における DX には大きな期待が高まっている。
今回は鹿島建設の DX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みを紹介。

1. 建設業の課題と建設業の DX について

- ・ 建設業の課題：作業員不足、高齢化、低い労働生産性
2024 年 4 月より労働時間規制の厳格化も大きな課題
- ・ 建設業の DX についてのアンケート結果は、意識としては他業界と遜色ないが、
取り組みの中身はまだ見劣り
- ・ 建設業のデジタル投資：売上高比率は全産業より若干低い傾向
- ・ DX を含めて多くの X（transformation）が存在するが、いずれにしても DX がベース
（デジタルの D+データの D）「技術革新による過去データの活用」

2. 鹿島建設の DX への取り組みについて

- ・ DV ビジョン 顧客・社会とデジタルで繋がり、主体的に課題を発見・解決し
便利・快適・安心で、希望ある世界を創る
建設 DX 建設工事の変革 便利・快適・安心提供 若者へのモチベーションアップ
事業 DX 新たな価値の提供 社会インフラを使う人たちへの便利・快適・安心提供
業務 DX 経営基盤の変革 デジタルによる仕事の変革
→現状は DX に向けた基盤として重要なデジタル化を推進中
- ・ 事例紹介
建設 DX
 - ① 建設ライフサイクルを通じた次世代建設システム
BIM の活用（将来的には 3D→7D へ）
データ・デジタル技術を加速させ上流から下流まで一貫したサービスを提供
企画・設計フェーズでは、ウイルス飛沫感染予測の共同研究にも参画
製造・施工フェーズでは、建設 RX コンソーシアムに参画しロボット導入を促進
 - ② 土木
土木は DX が比較的導入し易いカテゴリー
VR 空間を利用した新たな現場遠隔管理システム導入、危険予知活動に AI 導入
事業 DX 顧客への付加価値提供 NEM-AMORE（ネマモーレ）、そと部屋
鹿島スマート BM を活用した事例は 100 件超
新たな価値創出、事業領域拡大として、次世代会議室ミエルバの実証実験や
HANEDA INNOVATION CITY、つくばスーパーサイエンスシティ構想にも参画

業務 DX データハイウェイ、AI、デジタルワークを活用し
業務改革と高生産性マネジメント実現
デジタル基盤環境整備とサイバーリスク対策の強化

3. 鹿島建設の DX 推進における目指す姿

- ・ デジタル人材の育成と採用を強化
- ・ 従来とは違うアプローチ（外部視点、多様なメンバー、仕組み作り）で企画戦略、デジタルツイン、スタートビルソサエティ、事業 DX、業務変革などの各課題に取り組んでいく



例会の様子（講師の真下様）



例会の様子（9名が現地参加、14名がオンラインで参加）

報告者：岡田 陽一（パナソニック株）